

事業番号	15 10 03	事業改善シート (31年度実施事業分)	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	全国や世界で活躍する選手の育成事業費 (競技力向上・生涯スポーツ推進事業)	部局	教育委員会事務局	課・室	スポーツ課	
		実施期間	S46 ~	E-mail	sports-ka@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
総合的に展開する重点政策	3-4 2027年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けたスポーツ振興					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○本県の競技力は冬季競技については全国トップクラスだが、夏季競技については低迷傾向が続いている。特に2027年の国体に向け、長野県競技力向上対策本部を中心にジュニア選手の発掘・育成や指導者の養成等の取組を進める必要がある。	31年度 要求額	559,571 千円
		職員数	3.60 人
目指す姿	○国際大会や国体等の全国大会で活躍する競技者を育成・強化するとともに、指導者の養成及び練習環境の整備等により競技力を向上させ、県民のスポーツに対する関心とスポーツ活動への参加意欲を高めることを目指す。		
	○2027年に開催される国体において、県民の期待に応え、開催県としてふさわしい成績を収めるとともに、大会終了後も持続可能な競技スポーツの振興を目指す。		
(主な実施内容: 競技団体等への助成、長野県競技力向上対策本部の運営、中学校・高等学校体育大会の開催・参加経費助成 など)			

事業 コスト	区分 (単位: 千円)		29年度	30年度	31要求	31予算案	指標及びその達成状況						
	予算額	前年度繰越					No	成果指標	29年度末	30年度末 (見込)	31年度		
		当初予算	378,971	407,403	559,571						目標値	成果	達成状況
		補正予算											
合計(A)		378,971	407,403	559,571	0								
Aの 財源	一般財源	377,971	406,403	555,316		①	国体男女総合(天皇杯)順位	18位	13位	12位			
	県債					②	ジュニア選手の大会入賞数	218人・団体	220	230			
	国庫支出金	1,000	1,000	2,900									
	その他	0	0	1,355	0								
決算額(B)	341,192												
概算人件費	職員数(人)	4	4	4									
	概算人件費(C)	29,167	29,167	29,167	0								
概算事業費(B(A)+C)		370,359	436,570	588,738	0								

- 成果指標設定理由**
- ①本県選手の競技力向上の状況を把握するため、国体男女総合(天皇杯)順位を成果指標に設定
 - ②ジュニア世代の全国大会(国体(少年)、インターハイ、全中大会)の入賞数を指標に設定

指摘事項等への対応	指摘事項・意見	対応
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 県民協働による事業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生選手やチーム等への支援を強化すべき。 ・ジュニア選手の競技力向上のため、ICTの活用や大学等との連携を図るべき。 ・子どもの競技力向上のニーズに応えるため、地域に部活動の受け皿をつくるべき。 	2027年の国体に向けた競技力向上特別対策事業の拡充。

予算要求からの主な変更点

2 事業を構成する細事業の内容

(単位: 千円)

No	細事業名	31年度 実施内容(予定)	職員数 (人)	30年度 (当初)	31年度	
					(要求)	(予算案)
1	競技力向上事業費	各種競技大会で入賞を目指すための競技力の向上とその環境整備に対する助成等を実施	1.00	113,154	275,147	
2	スポーツによる元気な信州創出事業費	アスリート就職支援事業において企業への働きかけ等を実施	0.50	875	362	
3	中学校高等学校体育大会関係事業費	学校教育の一環である中学校・高等学校体育大会の開催経費や参加経費の助成	2.00	124,532	129,305	
4	長野県体育協会助成関係事業費	公益財団法人長野県体育協会への補助及び国体選手団派遣費の補助	0.10	168,842	154,757	
合計			3.60	407,403	559,571	0